

岡山県高P連会報

第70号

contents

高P連会長挨拶	1
地区会長挨拶	2
県高P連・安全互助会総会報告	4
全国高P連大会（佐賀大会）報告	6
「西日本豪雨災害義援金」活動について	6
県教育委員会からのお知らせ	7
県育英会東京寮生募集	7
生徒総合補償制度	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
事務局 〒700-0824 岡山市北区内山下1-14-19
TEL 086-234-1640 / FAX 086-234-1835
URL <http://www.okayama-koupren.jp>
E-mail okayama_koupren@ybb.ne.jp

『あいさつ』

岡山県高等学校PTA連合会会長
岡山地区連合会会長

福岡 隆



平素より皆様方にはPTA活動に對しましてご支援、ご協力頂いておりますこと厚くお礼申し上げます。

このたび、岡山県高等学校PTA連合会会長をさせて頂くことになりました岡山大安寺中等教育学校PTA会長の福岡 隆と申します。PTA活動の経験が浅いのですが誠心誠意対応させて頂く所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

7月の西日本豪雨では、県内外の多くの高校生はもとより多数の方が被害の大小にかかわらず大きな影響を受けております。今までも思ってもみなかった自然災害により被災されました方々に對しまして心よりお見舞い申し上げます。連合会として県内で被災された多くの高校生の皆様に何が出来るのか、他県の連合会の対応策を参考

にしながら早急に支援していく準備をし、「支援金」という形で対応することに致しました。ここにご報告させて頂きます。

平成最大の豪雨災害となったこのたびの西日本豪雨は、災害が少ない県といわれてきたこの岡山県も例外なく災害に見舞われることを証明してしまいました。私たちが大人が経験したことのない自然災害が次々と起こっています。皆様の命と生活にかかわる問題です。ぜひ家族で災害時の話をさせて頂くとともに、復興まで被災者の皆様に寄り添い、ご支援頂けますことをお願い申し上げます。

さて、私たちが高校生の親として生徒がこれから対峙していく幾多の問題を考えますと、子供たちの将来が本当に明るいものになるのか心配になってきます。貧困の増加、人口減少、超高齢化社会の到来、スマホ問題、既存職業の減少等々と心配なことだらけです。これも自然災害と一緒に私たち自身が今まで経験したことのないことです。自然災害と大きく違うのは間違いないことと得ることという現実が来るということです。本当

に子どもたちは大丈夫なのか。子供たちに何をしてやればいいのか。どのように準備をさせていけばいいのか。皆目見当もつきません。解決策があればどうかご教授頂きたいと思えます。でも、心配ばかりしていても仕方がありません。私たち親も子供に負担を掛けないように出来ることを準備しておかなくてはならないように思います。そして子ども達にとことん寄り添っていきましょう。

東京で開催されました全国高P連定時総会に参加させて頂きました。どの県でも生徒のことを第一に考え、どうすればよりよい高校生活を送ってもらうことが出来るのか、将来の不安をどうすれば解消できるかなど真剣に検討されていました。先日の佐賀の全国大会では、「生徒」、「学校」、「PTA」そして「地域」を巻き込んだ融合が進んでいました。このような連合会、及び他県での取り組みを皆様にフィードバックさせて頂くことが私の使命と認識し、皆様に有益な情報を発信できればと思っております。また、岡山らしい何かにも役員の皆様や事務局と相談し、取り組んでいければと思っております。

今後ともぜひ辛辣なご意見を賜れますように、宜しくお願い申し上げます。

「PTAの5つの得」

旭東地区連合会会長 松 森 誠 司

本年度、西大寺高等学校PTA会長、旭東地区PTA連合会会長を務めさせて頂くことになり、あらためてその責任の重さを感じております。

平素より、みなさまにはPTA活動に対し多大なご尽力を頂き、心から感謝申し上げます。PTA活動は、子どもたちの成長と地域発展のために学校、生徒、保護者が手を取り合い活動していく会ですが、私自身、いろいろな講演会や研修会に参加することで成長させて頂いております。ある講演でPTA活動には、5つの得があるという話を聴きました。

1「情報」、2「会話コミュニケーション」、3「友達」、4「感動」5「愛」これらは、PTA活動をしていくことで身につけていきます。みなさんそれぞれが持つ

ている情報を、保護者間の交流の中でしっかりと情報交換すること、たくさんさんの情報が得られます。また会話がはずむことで初めて会った人とも仲良くなり、たくさんの友達が出来ます。そして、子どもたちへ愛情を持って活動し、子どもたちの成長とともに素晴らしい感動を与えてくれます。そんなPTA活動は、本当に素晴らしい活動だと思います。

私たち保護者も積極的にPTA活動に関わり、楽しいPTA活動を通じて子どもたちの夢の実現のためにしっかりとサポートしていくことが大切だと思います。

微力ではありますが皆さんと一緒にPTA活動を盛り上げて行きたいと思っておりますので、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い致します。

「楽しむPTA活動に」

備南地区連合会会長 山 田 宏 美

本年度、倉敷翔南高等学校PTA会長、備南地区連合会会長を務めさせて頂くこととなりました。

このような大役を仰せつかり、改めて皆様のご理解とご協力があればこそPTA活動だと感じております。微力ながら子ども達のよ

り良い学校生活の為に、尽力させて頂く所存でございます。

さて、近年、核家族化が進み地域の人の繋がりが希薄化してきているように感じます。地域ぐるみで子育てを見守り、協力しあえる事で、ルールを教えたり、交通

安全や犯罪防止など、さまざまな利点があると思います。もつと積極的に地域活動に参加してもらえ、絆づくりが大切だと思います。

PTA活動も同じです。参加する機会を設けても、負担に思うようでは意味がないです。楽しんで参加してもらうには、どうしたらいいかと考えた時、やはり人と人との繋がりが大事だと思います。

「これからの高校生に求められるもの」

倉敷地区連合会会長 原 佳 孝

本年度の倉敷南高等学校PTA会長、倉敷地区高等学校PTA連合会会長を務めさせて頂いたことになりました。このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様方のご指導、ご協力をいただきながら精一杯務めさせて頂きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、4年後には、成人年齢が18歳に引き下げられます。2年後にはセンター試験も従来の知識重視から思考力重視へと出題形式が変わる見込みです。直接関係があるのは今の1年生からにはなりませんが、これからの18歳は今以上に社会から求められるものが多くあります。法的な知識はもちろん、判断力や社会常識、成人としての自由とともに責任も負うことになります。そしてそれに伴い、学校においてもそのような新しい社会に対応できる人材育成が求められ

「参加すればあの人に会える、会ったら悩みを聞いてもらおう。」「普段聞けない事を先生に聞いてみよう。」など、話しやすい雰囲気作り、楽しめる雰囲気作りに努め、一人でも多くの方に「参加して良かった。」と思ってもらえるようなPTA活動でありたいと願っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

るようになってきます。

折しも、倉敷南高校ではMinami-PROJECTS「未来を拓く志と力」と題し、45分授業の導入や海外の高校生との交流、真の文武両道の追求に挑戦しています。これは幅広い教養や思考力、課題を発見しそれを解決する力、人間関係を形成する力などを養うことを目的としており、どれもこれから生徒達が大学から社会へと進む中で必要不可欠なものばかりです。このような将来を見据えた取り組みは大変喜ばしいことではあります。ですが、それでは、我々PTAは何ができるのか？何をすべきなのか？考えても具体的な施策は思いつきませんが、はつきりとわかるのは生徒達をサポートしていくことです。我々が道標となるのではなく生徒達が自分で考え、答えを見つけ出し、それに向かって進んでいく、その手助けが出来

れば、と思っっています。全員がベストな道を歩まないかもしれないかもしれません。回り道をする生徒もいるかもしれませんが、でも、自分自身で考え、悩み行ってきたことはこれからの人生の糧になると信じています。そのためにも、私たちは学校、保護者と連携を取りながら一丸と

「きずな」

備西地区連合会会長 桑田 和也

本年度、笠岡商業高等学校 P T A 会長、兼備西地区高等学校 P T A 連合会会長を担ういたします。責任の重さに身の引き締まる思いです。初めてのことでばかりで右も左もわかりませんが、微力ながら精一杯努めますので、皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

先の 7 月の西日本豪雨災害において、被害に遭われた学校関係者、生徒の皆様には謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

私たち備西地区においても多大な被害がありました。今回の災害を通して一人の人間の無力さをあらためて実感しました。そんな中で、ボランティアの行動力、温かさなどに胸が熱くなりました。

なって、活動に取り組んで行きたいと思えます。最後になりましたが、この度の平成 30 年 7 月豪雨災害により、甚大な被害に遭われた方々に對し、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心からお祈りいたします。

P T A 活動においても、一人の力はわずかでも、O B、ボランティアスタッフなど、多くの人が集まった時の力というものは素晴らしいと感じます。多くの人と出会い関わり合いながら成長していくことは、子どもたちだけでなく私たち大人にも当てはまることだと思っています。I T 社会の中で人に対する関心が薄れている今だからこそ、人と人との関わり方を今一度考え直すことが大切だと思えます。縁があつて同じとき同じ高校で共にする P T A 活動、お金では買えない価値のあるこの出会いに感謝し、みんなとの「きずな」を深めていけるよう学校、P T A、生徒の皆さんと共にがんばっていきましょうと思います。

「絆と感謝」

備北地区連合会会長 倉 永 智 美

7 月の西日本豪雨災害で、甚大な被害が備北地区では多数発生し

ました。心よりお見舞い申し上げます。

私の住む倉敷市真備町でも多くの家屋が全壊となり、不自由な生活を送っている生徒がいます。まだ水が引いたばかりのドロドロの中、自転車でも 1 番に駆けつけてくれたのは総社南高校の息子の同級生達でした。生徒自らが、「支援に行きたい！」と名乗りを上げてくれたそうです。水を含んだ畳や家具は想像以上に重く、とても助かりました。また、卒業生や保護者の皆様から制服や文房具等が次々と学校に寄せられました。温かいお手紙も添えられており、涙が止まりませんでした。まだまだ復興

伝えること、伝える事

美作地区連合会会長 橋野 耕 一

本年度、津山高等学校 P T A 会長、美作地区連合会会長を務めさせていただきます。

平素より皆様には P T A 活動に多大なご尽力をいただきありがとうございます。

日々、我々保護者と子供達は話をしています。勉強のこと、クラスのこと、部活、文化祭等、そして数年後に控える進学、就職の事の話をする機会は沢山あるのに、実は子供達ときちんと向き合いながら話をしているのかと疑問に思う事があります。よく考えると、子供達に伝えたい事と、伝える事が微妙にズレながら前に進んでいます。

には程遠いですが、皆様の励みやご支援のお蔭で頑張つて行こうという気力が湧いてきました。子ども達も、人の温かさや絆を強く感じていると思います。この経験が今後の人生に生かし、人との繋がり大切さを心の奥底に刻みつけてほしいと思います。そして、復興目指して前向きに頑張っている親や周りの方々の背中を見て、将来の自分の夢に向かって頑張ってくれる事を切に願っています。

（総社南高等学校 P T A 会長）

す。これからの子供達は、学歴、学力もさることながら、会話能力が問われる時代になっています。営業、教師、サービス業、研究者、どのような職においても、会話能力が大切になってきています。我々保護者が、伝える事、伝える事を大切にしながら、勇気を出して伝えきる事に挑戦して行く姿を子供達に示して行くべきだと思います。P T A 活動も分かりにくい部分もたくさんありますから、保護者の皆さんへ分かりやすくシンプルに伝えていく事を念頭に働んでいきたいと思っています。

岡山県高等学校PTA連合会及び岡山県高等学校PTA安全互助会総会報告

平成30年6月18日(月)ピュアリテイまきびにおいて県内78校のPTA会長・校長が一同に集まり、県高P連及び県高P安全互助会総会を開催しました。

市川会長は開会挨拶の中で一年



〔市川会長 挨拶〕

間の活動について振り返り、感謝の意を述べるとともに、これからの高等学校教育について、PTAの立場から声を上げていく必要性があると述べられました。続いて来賓の県教育次長の日比謙一郎様にご祝辞をいただきました。開会行事に引き続き功労者表彰を行いました。

その後議事に入り、平成29年度事業報告・会計決算報告・監査報告、平成30年度役員案・事業計画案・会計予算案について協議を行

い承認をいただきました。

県高P安全互助会については、学校管理下における生徒の怪我等への見舞金を支給することとして運営してきましたが、見舞金支給期間が終了し、新たに全県的な事象等へ対応することとして高P連運営基金特別会計を設置し、早速、7月に発生した「西日本豪雨災害」への支援を行っているところであります。

平成30年度役員



〔30年度新役員〕

会 長

福 岡

副 会 長

隆 (岡山大安寺)

吉 井 久 人 (私学保護者会)
起 塚 郁 夫 (岡山大安寺校長)

監 事

松 森 誠 司 (西大寺)
原 佳 孝 (倉敷南)
倉 永 智 美 (総社南)
橋 野 耕 一 (津山)
山 田 宏 美 (倉敷翔南)
桑 田 和 也 (笠岡商業)
奥 和 男 (津山工業)

また、総会閉会后、研修会を実施いたしました。

研修会

【講演】

「グローバル企業と人材育成」

株式会社システムズナカシマ
代表取締役社長 中島義雄氏



〔中島義雄氏〕

功労者表彰受賞者

グローバル企業を運営されている視点から「日本は少子化でこれから人口が減っていくが、世界の人口は増えていく。目を外に向けて世界に出て行かないといけない。日本の外に大きなマーケットがある。変化のスピードが上がっている。グローバル化のさらなる進展、少子化、高齢社会の到来、このような環境の変化への挑戦をチャンスと捉え、新たな価値を創出できる人材を育ててほしい。」と熱く語られました。

※表彰状受賞者

(16名)

敬称略

水野義教	高山芳泉	高森文生	大原美子	高吹多美子	穴智枝子	分島みな子	笹本賢一	竹崎照美	山崎弘	平松晃	四木之	秦範吉	徳勤固	池田和巳	柴田浩	金藤千晶
(岡山大安寺)	(岡山学芸館)	(瀬戸南)	(岡山学芸館)	(倉敷鷺羽)	(玉野商工)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)	(倉敷商業)

※感謝状受賞者
(123名)

埋見	川上	庄本	岸本	林下	山下	永井	森下	綱嶋	楠村	嶋村	田邊	大原	前田	久保	三宅	藤井	及部	弘中	岡本	岡田	野口	中西	的場	永末	刃田	森藤	岡村	近藤	稲田
淑子	茂樹	真理子	尚子	祥子	俊文	留美子	智美	幸子	純子	貴子	まゆみ	由香	貴子	臣之佑	厚自	純子	道代	久美子	さつき	智子	慎一郎	貴志	真樹子	徳子	美智子	博子	真実	吉正	佳彦
(岡山理大附属)	(岡山理大附属)	(岡山理大附属)	(岡山理大附属)	(岡山理大附属)	(岡山理大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(岡山商大附属)	(関西)	(高松農業)	(岡山東商業)	(岡山東商業)	(岡山東商業)	(岡山東商業)	(岡山東商業)	(岡山東商業)	(岡山工業)	(岡山工業)	(岡山一宮)	(岡山一宮)	(岡山芳泉)	(岡山芳泉)	(岡山操山)	(岡山朝日)

吾郷	廣畑	国清	村田	松繁	小田	浪平	若林	山本	小川	光嶋	中山	岡田	大上	国代	鶴見	杉田	岡部	岡本	小橋	檜垣	石原	木村	服部	塚元	浅沼	能美	三石	小野	村尾	渡邊	氏平
浩之	剛	祥子	昭昭	秀昭	茂子	範子	美紀	まり子	雅洋	正恵	稔之	健介	沙織	和孝	知久	久美子	好香	道信	三千代	鈴子	寛子	智子	慎一	毅	智子	美和子	陽子	千春	和一	孝一	美穂
(倉敷青陵)	(玉野光南)	(玉野光南)	(玉野光南)	(倉敷鷺羽)	(倉敷鷺羽)	(倉敷鷺羽)	(興陽)	(興陽)	(岡山学芸館)	(岡山学芸館)	(岡山学芸館)	(吉備高原学園)	(瀬戸)	(瀬戸)	(和気閑谷)	(備前緑陽)	(邑久)	(西大寺)	(西大寺)	(明誠学院)	(明誠学院)	(明誠学院)	(明誠学院)	(明誠学院)	(明誠学院)	(就実)	(就実)	(就実)	(山陽女子)	(岡山理大附属)	

片山	名古屋	片岡	藤岡	有田	新田	大濱	西岡	赤沢	姫野	藤井	沼本	武鐘	岩知	金光	山田	守谷	萩原	山田	光田	神田	岡本	亀山	藤本	内島	立間	宮本	堀本	三宅	平井	永山	渡地
伊織	乃子	栄二	健二	直美	智子	公美子	静香	勤	智恵子	素良	健一	恵子	文子	ルミ	智子	良子	里江	久仁子	洋	美津子	智美	千春	英樹	裕美	教子	康代	麗子	智子	健司	一男	奈津江
(笠岡工業)	(笠岡工業)	(笠岡工業)	(笠岡工業)	(玉島商業)	(玉島商業)	(玉島商業)	(玉島商業)	(玉島商業)	(川崎医大附属)	(倉敷翠松)	(倉敷商業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)	(倉敷工業)

新田	上山	山平	山名	服部	山本	八幡	二本	大田	中村	赤坂	森岡	亀氏	瀧本	鈴木	仲田	小林	大塚	小嶋	中嶋	石平	平松	山本	藤原	小原	吉岡	田丸	武内	守屋
和子	るみ子	伸	定夫	匡恵	貴憲	穂	浩	恵	幸子	英樹	一朗	晃	良子	香	涉	晶子	啓次	美由紀	みゆき	明	亜弓	芳子	佳美	弘生	智織	陽三	清明	裕允
(岡山県美作)	(岡山県美作)	(勝間田)	(真庭)	(津山商業)	(津山商業)	(津山商業)	(津山商業)	(総社南)	(総社南)	(新見)	(新見)	(新見)	(新見)	(新見)	(新見)	(高梁城南)	(興讓館)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(おかやま山陽)	(井原)	(井原)	(井原)	(笠岡商業)



県教育委員会からのお知らせ

「主権者教育・消費者教育の推進」

先般、成人年齢を18歳に引き下げる改正民法が国会において可決・成立しました。これは、選挙権年齢の引下げと合わせ、若い人々が国家・社会の形成に主体的に参画していくことが意図されており、若者に対して、行動に大きく責任が伴うことを理解させることが、これまで以上に学校・家庭には求められます。

○十八歳から積極的な投票を！

主権者としての意識を高める教育
本県では、「第二次岡山県教育振興基本計画」で、よりよい社会づくりに参画する人材の育成に「主権者教育の推進」を位置付けています。各校では、選挙管理委員会等の協力を得た模擬選挙や社会的な課題を扱ったディベートなど、創意工夫をして取組を進めています。

また、県教育委員会では選挙前にチラシを配布して、投票を呼び掛けるとともに、選挙の基本的な留意事項について、学校、生徒、保護者の共通理解を図っています。

平成28年の参議院議員選挙以降、多くの生徒が一票を投じ、一定の成果があったと考えておりますが、投票が一過性の関心に留まらないようにしていく必要があります、例えば御家庭で社会的な課題

について話題としたり、選挙の際、投票所にも行くなどして生徒の社会参画を後押ししていただくと幸いです。また、生徒が卒業後に進学や就職などで転出する際には、住民票の異動の手続きを行うようお願いいたします。

○十八歳から契約ができます！

消費者としての意識を高める教育
平成34年度からの成人年齢の引下げにより、若者が親の同意なく、ローンなどの契約を結んだりできるようになります。若者にとっては、契約トラブル等に巻き込まれるリスクが高まることから、学校・家庭が一体となって消費者としての基本的な知識等を身に付けさせる必要があります。

8月には、国の「消費者教育の推進に関する基本的な方針」等を踏まえ、県消費生活センター主催の教員向け消費者教育講座が開催され、最新の消費者問題の事例を通じて消費生活に関する基礎知識や消費者教育教材の活用方法等を学ぶとともに、消費者庁作成の「社会への扉」と県作成の「発達段階別消費者教材」の家庭科や社会科での活用方法について検討を行いました。学校では現在、家庭科等で消費者問題を取り扱っています。今後さらに実践的な消費者教育を推進していく上で、御家庭にす

るなど、親子で考える機会も設けていただきたいと考えていますので、よろしく願います。

「就職に役立つ学生・保護者向けメール配信サービスへ登録を！」

本県では、県出身学生の県内定着を目的として、大学生やその保護者を対象に、県及び市町村等が実施するインターンシップや企業見学バスツアー、合同企業説明会、就職面接会など将来の就職に役立つ情報を配信する「学生・保護者向けメール配信サービス」を行っています。

これから、進学・就職される平成30年度卒業予定の高校生とその保護者に対して、PTA総会等において本配信サービスのチラシを配布し、本配信サービスの周知と登録への呼びかけをお願いいたします。登録された個人情報につきましては、厳重な管理を行うとともに、就職活動に関する情報提供のみに利用されます。

詳細につきましては、岡山県企業人材確保支援センターホームページ（URL：<https://www.job-agency-okayama.jp/>）をご覧ください。

「母校の生徒や岡山の子どもたちを応援！ふるさと岡山」学び舎環境整備事業」

県教育委員会は、「ふるさと岡山」学び舎環境整備事業として、個人、企業等の皆様から寄附金や、

県立学校の職業教育で使用可能な設備、備品等（主に中古品）の提供を募っています。平成29年度に事業を開始し、既に多くのお申し出をいただいております。よりよい教育環境の整備・充実につながっています。

金銭寄附は、ふるさと納税制度を活用しており、学校を指定しての寄附、学校を指定しない寄附の二種類があります。寄附金は各学校で策定した施設の整備や物品の購入等のプランに沿って活用します。現物寄附は、県立学校の設備・備品等の老朽化や、ICT機器の導入など新たなニーズに対応するため、既定の予算に加え、個人や企業等から使わなくなった機器等の現物寄附を募っています。

お問合せは、金銭寄附は県教育庁財務課（086-226-7572）、現物寄附は高校教育課（086-226-7583）までお願いいたします。

岡山県育英会東京寮

寮生募集



交通：JR品川駅まで徒歩10分
寮費：月額3万6千円（朝夕2食付）
応募資格：県内居住世帯で東京周辺の大学に新入学予定の男子
問合せ：（公財）岡山県育英会
☎（086）226-7598

保険金請求、
忘れていませんか？

今からでも
ご請求できます!!

岡山県高等学校PTA連合会 生徒総合補償制度

(学生・こども総合保険)

ご加入の保護者の皆さまへ

重要

こんなときにお役に立ちます。

■さまざまなケガを補償

生徒の不慮の事故によるケガを24時間365日補償します。

- 通学途上(自転車、徒歩、バス、電車等)のケガ
- 体育授業中やクラブ活動中のケガ
- 学校外での日常生活(ご家庭内、スポーツやレジャー中等)でのケガ

■賠償責任

生徒およびご家族が過って他人に
ケガをさせたり、他人の財物を壊して、
法律上の損害賠償責任を負われた場合



■学資費用

生徒の扶養者が偶然な事故で
亡くなったり、重度後遺障害が生じて
扶養できなくなった場合

※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。詳しくはパンフレットをご覧ください。

※上記補償内容については、主な場合を記載しております。具体的な内容については、岡山県高等学校PTA連合会のホームページをご覧ください。
頂くか下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

生活サポートサービス

ご相談無料

日常生活に役立つさまざまなサービスを電話にてご利用いただけます。学生・こども総合保険など*にご加入のお客さまと
その同居のご家族の方専用サービスです。

*詳しくは、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

健康・医療

- 健康・医療相談
- 医療機関総合情報提供 等

介護

- 介護に関する情報提供
- 介護に関する悩み相談 等

暮らしの相談

- 暮らしのトラブル相談
- 暮らしの税務相談

情報提供・
紹介サービス

- 子育て相談(12才以下)
- 暮らしの情報提供 等

□ 三井住友海上ホームページの「健康・介護ステーション」でも健康・医療、介護に関する情報を提供します。

*サービス受付のご利用時間・電話番号(通話料無料)は、ご加入後にお届けする加入者証の案内などをご覧ください。 *お使いの電話回線により、
ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。 *本サービスは、引受保険会社の提携サービス会社にてご提供します。
海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。 *本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、
あらかじめご了承ください。

お問い合わせは

引受幹事保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店 岡山第一支社
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-225-0835 担当：中野・梅原
取扱代理店：MS岡山株式会社
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-221-2576

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189(無料)

事故は いち早く

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・こども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 岡山火災新種保険金お支払いセンター
TEL 086-225-9002 月曜日から金曜日(祝日除く) 9:00~17:00